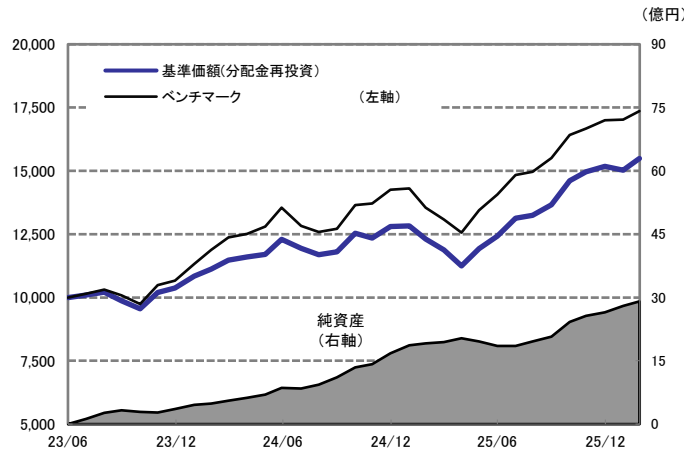


運用実績

2026年2月27日 現在

運用実績の推移 (ベンチマークは設定日=10,000として指数化:月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※	15,479 円
※分配金控除後	

純資産総額	29.1 億円
-------	---------

騰落率		
期間	ファンド	ベンチマーク
1か月	3.1%	2.0%
3か月	3.5%	4.1%
6か月	17.0%	16.0%
1年	25.9%	28.1%
3年	-	-

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来	54.9%	73.6%
-----	-------	-------

設定来=2023年6月30日以降

ベンチマークはMSCI ワールド インデックス (税引後配当込み・円換算ベース)とします。

- 信託設定日 2023年6月30日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則11月28日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万円当たり、課税前)の推移	
2025年11月	5 円
2024年11月	5 円
2023年11月	0 円
-	-
-	-

設定来累計	10 円
-------	------

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

資産内容

2026年2月27日 現在

国・地域別配分		
国・地域	純資産比	内先物
アメリカ	67.9%	-
イギリス	7.6%	-
フランス	5.1%	-
台湾	3.7%	-
ドイツ	3.4%	-
その他の国・地域	10.2%	-
その他の資産	2.1%	-
合計(※)	100.0%	-

・国・地域は原則発行国・地域で区分してあります。
※先物の建玉がある場合は、合計欄を表示していません。

通貨別配分	
通貨	実質通貨比率
アメリカ・ドル	71.5%
ユーロ	10.1%
イギリス・ポンド	7.9%
台湾・ドル	4.0%
日本・円	2.7%
その他の外貨	3.8%

・実質通貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

業種別配分	
業種	純資産比
半導体・半導体製造装置	10.1%
金融サービス	9.9%
テクノロジー・ハードウェアおよび機器	9.3%
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	8.9%
資本財	8.2%
その他の業種	51.6%
その他の資産	2.1%
合計	100.0%

配当利回り	
マザーファンドの配当利回り*	1.8%

*マザーファンドの配当利回り:一株当たりの過去1年の発表済み配当金額を、外国株は作成基準日の前営業日の株価で、日本株は作成基準日の株価で割ったものを、マザーファンドの組入比率で加重平均して算出しております。また、算出においては、税金や信託報酬などは考慮していません。マザーファンドの配当利回りは、ファンドの運用実績(騰落率)ではありません。

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

組入上位10銘柄

2026年2月27日 現在

銘柄	国・地域	業種	純資産比	配当利回り	ROE
TAIWAN SEMICONDUCTOR	台湾	半導体・半導体製造装置	3.7%	1.1%	35.4%
MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.7%	0.9%	29.6%
APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.6%	0.4%	151.2%
ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	3.5%	0.3%	32.8%
BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	3.3%	0.8%	29.2%
CISCO SYSTEMS	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.8%	2.1%	22.8%
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.5%	2.1%	28.8%
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	アメリカ	資本財	2.3%	1.9%	44.2%
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	アメリカ	食品・飲料・タバコ	2.2%	3.0%	-
PEPSICO INC	アメリカ	食品・飲料・タバコ	2.2%	3.4%	54.8%
合計			30.0%	-	-

組入銘柄数 :84 銘柄

・国・地域は原則発行国・地域で区分してあります。
・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

・配当利回りは、一株当たりの過去1年の発表済み配当金額を、外国株は作成基準日の前営業日の株価で、日本株は作成基準日の株価で割って表示しております。配当金額は、税金を考慮していません。
・ROE(自己資本利益率)は、過去1年の発表済みの当期純利益と自己資本(株主資本)から算出されたデータを表示しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他のいかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

先月の投資環境

- 米国:株式市場は、上旬は大手AI開発会社が企業の一部業務を自動化するツールを発表したことで、競争環境や収益性の悪化が懸念されたソフトウェア関連株などを中心に株価が下落しました。その後回復する場面もありましたが、中旬にかけては、大手通信機器メーカーが半導体メモリの価格高騰による悪影響を示唆したことが嫌気されたことなどから下落しました。下旬は大手半導体設計会社の決算への期待などから上昇したものの、月間では下落しました。
- 欧州:株式市場は、上旬は2025年10-12月期のユーロ圏GDP(域内総生産)成長率速報値が市場予想を上回ったことを受け、経済への楽観的見方が広がったことなどから上昇しました。その後、AIにより企業の既存業務が代替されるとの懸念などから下落する場面もありましたが、下旬は米国で連邦最高裁がトランプ政権の導入した追加関税について違憲であるとの判断を下したことが好感され上昇し、月間でも上昇しました。
- アジア地域:東京株式市場は衆議院選挙にて与党が大勝したことを受け、政局の安定化と、高市政権の財政拡張的な経済政策への期待が高まったことなどを背景に、月間では上昇となりました。また、日本を除くアジア・オセアニア株式市場は、AI向け半導体の強い需要やメモリ価格高騰による恩恵が見込まれる韓国のハイテク企業などを中心に上昇しました。
- 為替:日本の衆議院選挙において与党が大勝したことを受け、高市政権の積極的な財政政策への期待が高まったことなどを背景に月末のドル・円レートは155円81銭と、月間で2円15銭の円安・ドル高となりました。また、月末のユーロ・円レートは183円82銭と、月間で0円46銭の円安・ユーロ高となりました。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

- 月間の基準価額(分配金再投資)の騰落率は+3.12%となり、ベンチマーク騰落率を1.12ポイント上回りました。ベンチマーク対比では、株価騰落率がベンチマークを下回った米国の一般消費財・サービス株を非保有としたことや株価騰落率がベンチマークを上回った台湾の情報技術株をオーバーウェイト(ベンチマークと比べ高めの投資比率)としたことがプラスに寄与しました。
- 月間の主な売買:日本の資本財・サービス株などを買い付けした一方、英国のヘルスケア株などを売却しました。また英国で金融株の銘柄入れ替えを行いませんでした。
- 為替については、為替ヘッジを行いませんでした。

今後の運用方針 (2026年3月4日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

- 米国経済は、底堅い動きを続けています。2025年10-12月期の実質GDP成長率は前期比年率+1.4%と7-9月期(同+4.4%)から鈍化しましたが、政府閉鎖の押し下げ影響が大きく、個人消費(同+2.4%)や設備投資(同+3.7%)は堅調に推移しています。また、1月の非農業部門雇用者数は前月差+13万人(12月同+4.8万人)と高い伸びとなったほか、同月の失業率も4.3%(12月4.4%)と低下しており労働市場も安定しています。今後、追加関税の価格転嫁により上昇が見込まれるインフレ率や、中東情勢の緊迫化には注視が必要と考えています。
- 銘柄選択は、①過去の配当の増加実績や配当利回りの水準などによる定量スクリーニングを行いません。②更に経営の優れている企業を選別するために、企業理念や企業文化に着目した調査・分析を行ない、定性的に判断します。
- ポートフォリオの構築に当たっては、収益性について過去のROE(株主資本利益率)水準を考慮し、割安度の判断においては配当利回りを重視しながら投資を行いません。ポートフォリオ全体のROE、および配当利回りは市場平均を上回る水準を維持します。
- 為替ヘッジは、経済指標や市場動向を注視し、円高が急速に進行すると思われる局面では、その影響を回避するよう努める考えです。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

下記の事項は、この投資信託をお申込みされるご投資家の皆様に、あらかじめご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。
お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

投資リスク

ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。
したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【当ファンドに係る費用】

ご購入時手数料	ありません。
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年0.803%(税抜年0.73%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
信託財産留保額 (ご換金時)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◀分配金に関する留意点▶

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期末決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

■ 指数の著作権等について ■

MSCI World Indexは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)

<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

★インターネットホームページ★ <https://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社> 野村アセットマネジメント株式会社

[ファンドの運用の指図を行なう者]

<受託会社> 三井住友信託銀行株式会社

[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員

一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

ラップ専用・世界株式アクティブ(グローバル・バリュー)

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。